



インフルエンザの流行期に入りました

2025年第41週(10月6日～10月12日)の発生動向調査において、熊本市内の定点医療機関からのインフルエンザ報告数は24件(1定点医療機関当たり1.00)で、流行開始の目安である「1」を上回り、流行期に入りました。いったん流行が始まると、短期間に多くの人へ感染が拡大する恐れがあります。

手洗い・うがい等の基本的な感染対策により、感染を予防しましょう。

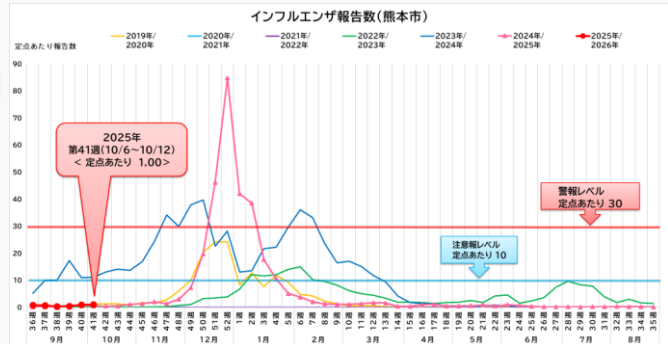


●主な症状●

38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等の症状が比較的急速に現れるのが特徴です。普通の風邪と同じように、のどの痛み、鼻汁、咳等の症状も見られます。

●予防対策●

- ① 流行前のワクチン接種
- ② 外出後の手洗い等
- ③ 適度な湿度(50～60%)の保持
- ④ 十分な休養とバランスのとれた栄養摂取
- ⑤ 人混み等の混雑した場所への外出を控える
- ⑥ 室内ではこまめに換気をする



定点 種別	疾患名	状況	40週(9/29～10/5)		41週(10/6～10/12)	
			報告数	定点当り	報告数	定点当り
急性 呼吸器 感染症 (ARI)	インフルエンザ	—	22	0.92	24	1.00
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)		127	5.29	79	3.29
	急性呼吸器感染症(ARI)		1338	55.75	1325	55.21
小児 科	RSウイルス感染症		31	2.07	25	1.67
	咽頭結膜熱(プール熱)	—	2	0.13	3	0.20
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	—	17	1.13	16	1.07
	感染性胃腸炎	—	60	4.00	36	2.40
	水痘(みずぼうそう)	—	4	0.27	3	0.20
	手足口病	—	18	1.20	6	0.40
	伝染性紅斑(りんご病)	○	64	4.27	62	4.13
	突発性発しん		12	0.80	17	1.13
	ヘルパンギーナ	—	0	0.00	1	0.07
	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	—	0	0.00	0	0.00
眼科	急性出血性結膜炎	—	0	0.00	0	0.00
	流行性角結膜炎(はやり目)	—	8	1.60	8	1.60
基幹	細菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
	無菌性髄膜炎		1	0.20	0	0.00
	マイコプラズマ肺炎		13	2.60	18	3.60
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0.00	0	0.00
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)		0	0.00	0	0.00

※「状況」欄は、疾患ごとの警報・注意報レベルを表示しています。表中の斜線は、基準値が定められていないことを示します。

○:警報レベル △:注意報レベル —:警報・注意報レベルなし